

保育おおさか

平成21年10月1日 第410号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

保育部会では「よい子ネット」の運用に取組んでいますが、より充実したシステムを目指し「新・よい子ネット」を10月1日からスタートします。詳細については、操作説明会での質問をもとに、調査研究委員会が一問一答形式にまとめましたので報告します。

携帯電話を使った「新・よい子ネット」の操作説明会は8月から9月にかけて、会員全園を対象に5回開催、計201カ園が参加しました。参加できなかった保育園につきましては、9月16日付で大阪府社会福祉協議会からIDとパスワード、操作説明書などを郵送していただきますので、確認のうえご利用いただくようよろしくお願いいたします。

Q グループとカテゴリの違いを教えてください。
A グループとはメール管理の際に用いる言葉で、クラス別、職員専用など様々なグループを作成し、指定したグループのみにメール送信が可能です。カテゴリとはトピックス

をジャンル分けする機能で、各保育園のトップページの左側に表示されます。カテゴリを開くとトピックスが表示されジャンルに合わせた内容の記事の掲載が可能。文字数制限もなく写真が3枚まで掲載でき、絵文字も使えます。過去の掲載分も閲覧可能で保護者の方が情報を見返せます。

Q 携帯のIDでパソコンからログインできますか？
A また、それぞれIDを区別する必要があります。
Q 新・よい子ネットではログイン名(ID)とパスワードを利用し携帯電話、パソコン両方から操作できるためIDを区別する必要はありませんが、携帯電話では操作可能範囲に制限があり、写真の掲載は「マスタ」(管理画面)もつ機能を全て活用できる権限をもったユー

「新・よい子ネット」 10月1日スタート パソコンからもログインOK

ザー(管理者)登録時の携帯電話からのみ可能です。

Q 家のパソコンからログインできますか？

A ですが、必ずログアウトを行うなど「マスタ」登録された方のみ管理画面へアクセスできるようID、パスワードの管理に充分ご注意ください。

Q マニユアルを紛失した時の予備は？
A 管理画面トップページ「http://osaka.yoi-ko-net.jp/yoiikonet/client/home/showMenu」下段からダウンロードでき、マニュアルがダウンロードアップしている場合も確認いただけます。

Q 兄弟、姉妹が在園している場合、グループは複数登録してもらえますか？
A 兄弟、姉妹の各クラスを選択し複数グループを登録いただいた場合でも、一斉配信された同内容のメールは1通のみ届き、グループごとにメールが送信された場合はその都度メールが届きます。

Q メールも複数届きますか？

A 兄弟、姉妹の各クラスを選択し複数グループを登録いただいた場合でも、一斉配信された同内容のメールは1通のみ届き、グループごとにメールが送信された場合はその都度メールが届きます。

今回は携帯電話での操作説明会でしたが、今年度中にパソコン向けの操作説明会の開催を検討中です。

なお、現在、各園より登録されている保護者の方は10月1日から再登録の必要があり、防犯・防災情報は10月から11月が移行期間となりますので、保護者への周知にご協力ください。

ご質問などはラジオ関西サポートセンターまでお願いします。
TEL 078-362-7371
※月曜日・金曜日(祝日を除く) 9:30~12:00 / 13:00~17:30
メール yoiiko@osaka.yoi-ko-net.jp
(調査研究委員会よい子ネットグループ)



朝5時のお弁当作りから私の1日は始まります。この生活を続けてかれこれ19年。子どもが中学生くらいになると、部活やらに追われ、向かい合って話す機会もぐんと減ってきます。家族で食卓を囲む日も一週間に数回です。

ある日、三女が「あんな、お母さん。お昼にお弁当の蓋を開けたとき、私、お母さんを思い出すねん」と言ってくれたことがありました。その言葉聞いた時から、たとえ夕食の残りでも、二品しか入れられなくても！やっぱり頑張って入れなくてはと思いつつ毎日続けています。ちなみに出張の多い主人も便乗し、愛情入りおにぎりを持って会社に行きます。

食べることで家族がつながっているんですね。愛は外でのどんな試練も乗り越えさせてくれる、そのことを信じ、私は二日酔いの朝でもお弁当作りに励みます。

(編集委員 M・S)

大阪府の新型インフルエンザ対策

柔軟な対応へ行動計画の見直し検討

原則として臨時休業を要請せず

これからの季節にかけ、新型インフルエンザの流行が懸念されます。大阪府から現在の状況や対策について寄稿いただきました。

現在もなお、府内市町村で感染が拡大している新型インフルエンザ

(A/H1N1以下「今回の新型インフルエンザ」という)については、5月の国の行動計画などに基き、「感染の拡大防止」を最大の目的として、府は感染者が確認された9市町に対し、保育施設など(保育所・認可外保育施設・放課後児童クラブ・児童館)の一斉休業を要請。また、感染者が確認されていない4市町が独自の判断で、管内の保育施設などに対し一斉休業を要請しました。

その後の実態調査では、総計4万2800名を超える園児などが休業要請の対象となりましたが、休業期間が最長でも1週間だったことから、代替サービスは提供されていません。

6月末以降も今回の新型インフルエンザ患者と

なった園児・保育士が散見され、8月末現在、府内27市町(政令・中核市除く)で420名の確定・疑似患者が発生。うち認可保育所で休業措置をとったのは部分休業を含めても3施設にとどまっています。

今回の新型インフルエンザについては、感染力は強いものの毒性は弱く、患者のほとんどは軽症で回復しており、季節性のインフルエンザとの区別がでないことから、両者の対応を区分する意義は小さくなっていきます。

大阪府の「新型インフルエンザ対策行動計画」は、もともと鳥由来の強毒型(H5N1)への対応だけを想定したもので、これを弱毒性のケースに適應すると、保育施設などへの臨時休業の要請をはじめ、個人の自由の制限、経済活動への影響など著しい不均衡を生じることが想定されます。

このため、府ではウイルスの毒性、感染力の強弱、感染者の特徴や感染拡大の状況に応じ、柔軟な対策が可能となるよう、行動計画そのものを見直し

検討を開始。強毒型・強毒性の新型インフルエンザの出現などに備え、代替サービスの提供体制なども検討されています。

また、行動計画の改訂にあわせ、今回の新型インフルエンザの保育施設などでの発生に際し、府は原則として当該施設に対し臨時休業を要請しないこととしました。ただし、患者の発生状況や保育の実施状況などを踏まえ、施設長が府と相談のうえ臨時休業することは可能とされていますので、市町村とも十分協議のうえ、ご相談ください。

具体的には、クラス単位で2名以上の患者が発生し、保育所での感染が疑われる場合に、患者園児の登園状況、他の園児の健康状態、保育の利用状況などを勘案し判断しますが、混合保育や歳児を超えた行事の実施状況などによりクラス概念を広げることとしています。

この場合でも保護者の就労継続に配慮し、適切な休業期間を設定していただきます。

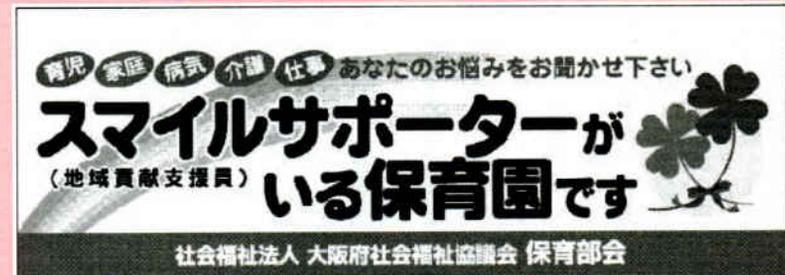
営費負担金(私立のみ)は月額を満額支弁されるほか、保護者徴収金(保育料)についても市町村の判断で日割り計算により減額することが可能としています。

このほか、新型インフルエンザ対策について不明の点がありましたら、

各市町村保育担当課または府子ども室子育て支援課保育グループまでお問い合わせください。
(大阪府福祉部子ども室 子育て支援課)

在籍保育園示す 看板の基本デザイン決まる

—スマイルサポーター—



「地域貢献支援員(スマイルサポーター)」が在籍する保育園であることを示す看板の基本デザインが決定しました。

基本デザインは7月22日、23日に開催された「園長研修会」(本紙9月号に掲載)の参加者の投票により選ばれました。

上記のデザインに府章や知事認定であることを示す文言が入る予定です(現在、府章等使用について調整中です)。

看板購入についての案内は近日中に事務局よりお送りいたします。



吹田市 もみの木千里保育園

土や水、草木など五感で自然体験を大切に
忍耐力を育てる半年がかりの梅干し作り



梅干し作りに取り組む園児

もみの木千里保育園は吹田市の北端、千里万博記念公園がすぐ目の前に見える、広々とした美しい自然の中にある定員120名の保育園です。できるかぎり外に出て、陽や風を感じ、水や土、砂などの自然に親しみ、草木の匂いをかいだり、自分たちが育てる野菜を味わったり。四季折々の自然との触れ合いや五感を使って本物の実体験を積み重ねることを大切にされています。

毎年6月には、年長児の梅干作りがスタートするそうです。園庭で収穫した梅と取り寄せた南高梅をハカリで計ったり、虫めがねで産毛を観察したり。色や匂いを充分楽しんだあと、水に浸してアク抜きし、いよいよ塩漬け作業を開始します。日ごろは賑やかな年長児も真剣な表情で、つま楊枝で「へソ取り」をし、丁寧に水気を拭いて桶に並べ、塩をふったりして2時間かけて終了します。桶は障子紙で被い、赤いよだれ掛けに目鼻もつけ、梅干し地蔵が完成。朝夕、「美味しい梅干しができますように」と手を合わせているそうです。梅酢が上がって来る頃、今度は大量の赤ジンをデッキに広げ、葉をもぎ、タライで何度も洗う作業をしますが、忙しい年長児のために、4歳児クラスが給食を運んでくれるそうです。

午後調理室でシソのアク抜きの力仕事。年長児ならではのがんばりで、塩でもんでは、しぼりを3回繰り返します。根気と体力を使い切つてシソ漬け作業が終了。真夏3日の土用干し、11月に梅干が完成すると、持ち帰ったり、梅干しおにぎりを作つて、全園児や保護者の方にも食べてもらつたり、半年間の活動を終えるそうです。自然に親しみ、梅干作りなどを通して、忍耐力や協力し合う力などを培われていく保育園です。

(編集委員 M・K)



守口市 錦 保育園

5歳児が生ゴミの堆肥化、エコ意識育てる
公園で出張紙芝居、異世代交流につながる

保育園を たずねて 390



紙芝居の始まり～

守口市で設立8年を迎えた公立民営化園「錦保育園」を紹介し、園の方針を表わすシンボルマークには、写真のように、赤ちゃんを育むカンガルーの図を採用しています。ともかわいらしく、紙面に取り上げました。(写真真下)

保育の中で特徴的なことは、環境・エコロジーへの取り組みだと思えます。子どもの時から、環境や省エネルギーに対する意識をもつことは、これからの時代に必要であるとの考えからです。その一つは、生ゴミの堆肥化です。専用の木箱に腐葉土と米ぬかを入れ、よくかき混ぜます。そこに調理クズや食事の残った物を入れ、毎日1回必ず、当番の5歳児が中をかき回します。「給食は残さず食べますが、やむを得ず残った物も再利用できることを教えています」との言葉通り、園児たちは、毎日興味津々で箱の中を覗き込んでいます。堆肥は食用の稲や野菜のほか草花の育成にも利用されています。

(編集委員 J・F)

さらに、社会見学として、舞洲のごみ焼却場の見学にも行っています。地域との関わりでは、子育て支援として2年前から始めた公園での出張読み聞かせ会がその一つ。毎週土曜日の午前11時、近くの公園で紙芝居を続けています。当初は参加者が少なかつたそうですが、「継続は力」です。今では親子だけでなく、孫を連れただじいちゃんやおばあちゃんも聞きに来てくれるようになりました。紙芝居の後は保育士と参加者が一緒になって、公園の掃除をします。子育て支援・異世代交流・地域貢献は決して別々のものではなく、一体となった取り組みがその良い例だと思えます。



カワイイ!

八尾市 キッズビレッジ

便利な百貨店の屋上に立地し一時保育も多い
防犯面でも万全、フロアで子育て支援も



かつて百貨店の事務所だった保育室

八尾市の中でも大きなショッピングモールやマシソンが建ち並ぶ賑やかな地域にキッズビレッジは位置しています。同市に開園するゆめの子保育園の分園として現在、26名の定員数で0歳児から2歳児の園児たちが元気に登園しています。他の認可保育園と比べ大きく違うのは、百貨店(西武百貨店)の屋上を利用して運営されていることです。商業施設の屋上に認可保育園を設立するのは大変珍しいことですが、多くの人が行き交い、共働きの保護者も多いこの地域では、その利便性から在園児以外の一

時保育の利用も多いと園長先生。特に夏場はプール開放に訪れる子どもも多くみかけられました。いつも見上げることの多い子どもに、ビルの屋上から電車や車が行き交う様子を見下ろす景色は新鮮でしょう。

屋上には緑が多く、アリの行列や夏には蝉、秋にはトンボなどの昆虫が見られ、真剣に観察している園児もいます。

防犯面では、人の出入りが多い商業施設なのでより配慮をされ、登園時の出入口を制限、屋上までのエレベーターは1カ所のみ稼働で、保育中は稼働時間をコントロールするなど西武百貨店と連携されています。

また、毎日、定期的に園庭となる屋上を警備員が巡回パトロール。砂場やすべり台で遊ぶ園児から「おっちゃん、お早う」と元気な声が聞こえてきます。こうした立地、防犯面からも、外からの不審者の侵入を防ぐだけ

なく、子どもたちも勝手に外に出られないので事故防止にもつながっているそうです。

土曜日には百貨店内の子ども服、玩具売り場のフロアで保育士による絵本の読み聞かせ、季節の制作や外国人講師による英語の提供など子育て支援事業にも積極的に取り組まれており、企業と連携しながら社会福祉と民間企業の新たな姿を垣間見ることができました。

(編集委員 S・S)



富田林市 梅の里保育園

豆腐づくりなど多彩な食育カリキュラム
専用ルームを設け病後児保育にも対応

園舎は園児の健康を考慮し、壁紙などを使用せず、木材が多く用いられ落ち着いた雰囲気です。保育の特徴として、日頃から食育に力を入れられており、1歳児から各年齢のできる範囲で、月2回のクッキングが行なわれています。

近隣の畑で育てもらった季節の野菜や園庭の菜園で収穫した野菜が調理されています。収穫には全年齢児が参加する恒例行事となっています。

食育内容も大豆から豆腐やおからを作ったり、魚の解体、スーパーでの買い物やバイキングなど様々なカリキュラムが組み込まれています。日頃、体験できない豆腐作りに子どもたちは興味津々だそうです。

梅の里保育園の園舎



梅の里保育園の園舎

梅の里保育園は富田林市の北東部、梅の里住宅街の中にあります。もともと住宅内にあった保育所用地を利用し、市内待機児童解消のため、定員90名で平成18年4月に開園さ



たずねて 391

保育園を



ごとのクラス編成ですが、期間を決めて縦割り保育も行われています。年下の子を思いやる気持ちや上の子と同じようにしようとする向上心が養われ、子どもの発達に良い影響がでているとのこと。

毎月行われる誕生会には誕生児の保護者も参加し、子どもの成長をお祝いします。その日に給食体験を行うなど園の様子や子どもたちの様子を見てもらう良い機会、保護者には好評のようです。専用入り口、専用ルームのある病後児保育や休日保育にも対応されていますが、あまり地域に浸透していませんので、今後はこれを利用していただくため、積極的に地域に周知することが課題とおっしゃっていました。

多くの体験の中から子どもたちの成長を支援し、保護者の状況に配慮した保育がなされていると感じました。

(編集委員 H・M)

保育の

まど

38



江ノ口保育園
—大東市

シリーズ 園児の体力づくり

野崎まいりは体力アップの道
リトミック取り入れ「遊び」が基本に



公園で運動会の練習

「江ノ口保育園」は大東市の北部に位置し、門真市との境にあります。定員は90名。10月といえば、運動会のシーズン。「大阪市内に近づくほど、運動会は園庭でできなくなる」といわれてい

ますが、当園も同様で、外遊びやクラスごとの体育指導はできてはいても保護者が観覧できるほど広い園庭ではありません。このため、会場は歩いて数分の場所にある公園の許可をもらい貸し切って行われます。当日の道具移動はもちろん、練習中の移動もひと苦労。本番に慣れるため、公園での練習は9月からスタート、体育指導の男性指導員によって週1回行われます。それ以外の練習は園庭で。決められた期間に運動の課題をもち、みんなが協力して、全力で目的に向かうことは体力作りの基本でしょう。



頑張るリトミック

通常の保育では毎年、保育士が外部研修や園内研修に参加し、常に新しいプログラムの習得を怠りません。特に4月は、前任者からの引き継ぎなどを行うかたわら、園内研修で全員が年齢別に1年間の課題を決めます。クラスごとに、先生方による保育室でのリトミックも取り入れています。リトミックの本来の意

味は「音を聞き、それを感じ、理解する」音楽教育手法ですが、体育的要素を取り入れ、園独自の保育方法とされています。体力の向上を図りながら楽しく遊ぶ時間になっているわけです。また、14年前から和太

鼓の練習を行っており、これもリトミックに通じるものです。和太鼓は手打ちだけではなく、体全体を使って表現する楽器です。月に1〜2回定期的に、年度末の「発表会」で完成します。なお、リトミックの前

後、園児たちは床の雑巾がけをしたり、運動会で利用する公園や園庭の小石拾いや清掃活動も行っています。裸足保育、乾布摩擦、マラソンや「深北緑地」(徒歩で20分)への散歩などいろいろ工夫を加えながら体を鍛える、これも「遊ぶこと」の一環です。



野崎参り!

本紙先月号で、金剛山登山の例が報告されましたが、当園では「野崎まいり」で有名な野崎観音への遠足があります。野崎観音は生駒山地北部の中腹、境内からは大阪平野を望むことができます。すべての行程は徒歩で行われます。園児の足で片道40〜50分。帰りは遊び疲れて一時間くらいかかりません。駐車場から本堂までの石段は大人でも体にこたえるくらい急な傾斜になっています。本堂の上には石の塔や石像などが並んでいます。(江ノ口保育園K・Y)

地元からの多数参加を!!
来年度の近畿ブロック保育研究集会は大阪府が担当

日程は7月16〜17日の2日間

毎年、7月に開催されております「近畿ブロック保育研究集会」は、各府県市持ち回りで行われていますが、今年度は兵庫県に続き、来年度は大阪府が担当となります。日程は平成22年7月16日(金)、17日(土)の2日間。会場は大阪・中

之島の大阪国際会議場及びリーガロイヤルホテルの各会場です。研究集会の内容については、1日目が行政報告のあと8つのテーマによる分科会、2日目は記念講演が行われます。各内容の詳細については現在、保育部会の常任委員を中

心とした「実行委員会」を立ち上げ、準備を進めています。来年度の研究集会が実現のある集会成为りますよう、ご協力よろしくお願いたします。地元大阪から多数のご参加を!!

ブロックだよ

北大阪

地域貢献事業の共通理解深める

管理職対象の子育て支援研修会

地域貢献事業の本格始動を目指し、各園の共通理解を深めることを目的に、北大阪ブロックの管理職対象「子育て支援研修会」が9月10日、ホテルモンテ・ラ・スール

大阪で開かれ、約80名が参加。

1部では地域貢献事業推進委員の馬場耕一郎先生から「保育部会の取り組みについて」の報告があり、続く2部では、全



馬場耕一郎氏

国保育協議会副会長の菊池繁信氏が「保育園で考える社会貢献」と題し、平成21年から知事認定となったスマイルサポーター事業に至るまでの経緯などについて講演。

地域貢献事業の必要性を考える中で、税の優遇措置を受けている公益法

人としての公益性を確保することの重要性を指摘、公益性とは「積極的に不特定多数の利益の実現を計る」と述べられました。

近年の相談内容は子育ての問題にとどまらず多種多様になっています。その中で「敷居の低い」「地域に密着した」保育園が相談窓口の役割を担うこと。大切なことは、直接の問題解決が目的ではなく、スマイルサポーターは実情をキヤッチし、問題がより良い方向に向

南大阪

音楽の力の素晴らしさ学ぶ

役立つ音楽実践研修

「すぐに役立つ・保育で使える音楽実践研修」をテーマに音楽研修が8月22日、講師にNPO法人生涯音楽アカデミー理事長の山地寛和氏を招いて富田林市のすばるホールで行われました。

研修では4講座が実施され、各講座とも必要に応じて参加できる内容。会場には木琴や鉄琴をはじめ、ボンゴ、大太鼓、小太鼓、マラカス、ギロ、ウッドブロック、タンバリン、カスタネット、スズ、ピアノが用意され、鍵盤ハーモニカを持参しての実践形式による講習でも楽しい一日を過ごしました。

研修内容は①「絵本から始まる音楽遊び」②「鍵盤ハーモニカ指導法」③「声と身体から始まる音楽」④「合奏指導法」と多岐にわたり、楽器だけでなく絵本や紙芝居を音楽指導に取り入れる手法はたいへん参考になりました。

最も身近な楽器は「声と身体」。その声と身体を使って、子どもたちが自己表現をすることが自己肯定に繋がり、他者との関わりへと繋がっていきます。

音楽のもつすばらしい力を改めて知らされました。

これからの保育に生かす、笑顔の絶えない保育を目指したいと想います。

(高屋保育園 N・M)

くように適切な関係機関に繋ぐことであると強調されました。

(編集委員 M・S)

民主党権誕生！マニフェストに『幼保一元化』と書いてある。

私たち保育は、既に『養護と教育』で一元化はできているんやけど。どないな一元化をお考えなのか？見えてこないし、少子化の日本、将来を考えると人口減少は国の衰退に関わる大事。さらに、家庭での養育力の低下が著しい中で、私たち保育園の果たすべき役割増大は必至！流れが変わり、子どもたちへの手当てが、親の遊興への手助けにはならないかと心配する。

地域性かも？

さて、秋の実りに囲まれる旬となり、あちこちでイベントが催される。

ここ10年は丹波篠山へ旬を漁りに行くことが年中行事の一つになっていて、山里の実りに出会うことに生きている喜びを感じている。

日本一の黒豆の枝豆・山芋・新米・栗に加えて、山椒昆布に欠かせない塩漬山椒は必ず買う！もう一つ、仕事仲間とともに旬の美味いモノを食し、明日の子どもたちへの食の伝達を続ける行事に、今年は何をと、考えるのが私に取って大きな楽しみの「旬」。こ

「旬」

黒豆・塩漬山椒...

丹波篠山へ旬漁り
子どもへの食の伝達
考えるのも楽しみ

これは私一人ではなく、阪神大震災に炊き出しで汗をともにかいた盟友と相談して。これは昭和62、63年と連続して調研で米国東海岸研修の報告書を作成することに起因し、書けば長くなるので割愛するが、何となく理解ができる豪傑名を会名称にして、大事にしていることは、参加者はお客さんでないことで、皆が動く、焼き方も、たれの浸け方、細うどんの湯がき方も覚えて帰る。留守

宅への気配りも会の継続要因とも。自分が元気なうちは続けたいと思う大切な行事。

これは、育ちの環境で酒を飲まない父親が、絶えず酒飲みを呼んでの宴会の中の育ち！人にはこうするモノとインプットされているのかも？それも楽しからずやですが、サポートしてくれる人が居るから継続も可能。感謝！参加者の御仁達、ご理解を！

(大阪の施設で、こんな飲み会をやっている所は、先日お亡くなりになった八尾母子ホームの坂江先生とこくらいかな？)

(H・N)



鍵盤ハーモニカと保育士

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 正
編集人 野 和
永 藤 齊